



東日本大震災から7周年の日に

第7回 自立支援シンポジウム

弊財団は、2011年5月12日に設立（登記日5月23日）され、東日本大震災の被災地や被災者の自立支援を主に活動してまいりました。震災から7年目を迎える3月11日、前半は「東北からありがとう」をテーマに、震災から立ち上がってきた皆様から元気な声を聞かせていただきます。後半のパネルディスカッションでは、東日本大震災を乗り越えてこられたことと、東北がいかに世界と繋がっているか世界中の“愛”から支えられて来たかを話し合いたいと思います。ご参加の皆様は大いなる“愛”を感じて、暖かい気持ちになってお帰り戴ければ幸いです。

日程 : 2018年3月11日(日) 10:00 ~15:30
定員 : 先着150名
参加費 : 無料 (寄付歓迎)
会場 : 慶応義塾 三田キャンパス 南館ディスタンスラーニング室

Time Schedule

- 09:30 開場・受付
- 10:00 - 10:05 開会のごあいさつ (佐多 保彦 連帯東北・西南代表理事/株式会社TKB代表取締役会長兼社長)
- 10:05 - 10:25 『自社ビルを震災遺構として残す ～次世代へ向けた、ある男の夢～』
(米沢 祐一様 米沢商会代表取締役/陸前高田市)
- 10:25 - 10:40 『希望への道のり』 video上映
- 10:40 - 11:00 『石巻の奇跡』(武山 郁夫 氏 釜谷地区慰霊碑設立委員会代表/石巻市)
- 11:00 - 11:10 『タヘルとの出会いから始まった』(佐藤 寛哉 氏 中学生代表/石巻市)
- 11:10 - 11:30 連帯東北・西南 (7年間の活動 video 上映)
- 11:30 - 11:45 質疑・応答
- 11:45 - 12:30 昼食・休憩 (食事会場を用意しますので、昼食は各自で持参をお願い致します。)
- 12:30 - 12:50 『陸前高田、障害施設での避難経験』(中村 浩行 氏 大洋学園 園長/大船渡市)
- 12:50 - 15:00 パネルディスカッション『Overcoming from Tsunami Tragedy / 東日本大震災を乗り越えて』
- dialogue with victims and remaining families / 被災者やご遺族との対話 - 東北と世界
コーディネーター : 佐多 保彦
パネリスト : 1.佐藤 良規 氏 (曹洞宗藤源寺 住職/一関市)
2.菅原 正義 氏 (前平泉町町長/平泉町)
3.セイエド・タヘル 氏 (一般財団法人連帯東北・西南 評議員)
4.武山 郁夫 氏 (釜谷地区慰霊碑設立委員会代表/石巻市)
5.中村 浩行 氏 (大洋学園 園長/大船渡市)
6.ビル・ルイス 氏 (一関修紅高等学校 教師/一関市)
7.米沢 祐一 氏 (米沢商会代表取締役/陸前高田市)
- 15:00 - 15:30 特別プログラム『交渉中につき、ご期待下さい』
- 15:30 - 16:30 懇親会 お時間ございましたら、是非ご参加下さい。

2018年3月11日開催 自立支援シンポジウム参加申込書

参加をご希望される方は、下記枠内をご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。

申込締切：2018年2月末日 FAX送信先：03-6683-7039

ご出席者名	フリガナ				
同伴者名	フリガナ				
ご連絡先住所	〒 -				
電話番号					
メールアドレス	@				
勤務先/ご所属					
下記アンケートにご協力をお願いします（該当する欄に丸印を記入願います）					
シンポジウム参加のきっかけ	演者紹介	一般（WEB）	一般（パンフレット）	連帯東北紹介	東機質紹介
年齢	0～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
ご職業	学生	公務員	自営業	会社員（役員含む）	その他

※申込書に記載して頂いた個人情報は、シンポジウムの運営目的以外に使用することなく、個人情報保護法に基づき厳重に管理させていただきます。

【会場へのアクセス】

慶応義塾 三田キャンパス 南館ディスタンスラーニング室

- 住所 〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45
- 交通アクセス 田町駅（JR山手線/JR京浜東北線）徒歩8分
三田駅（都営地下鉄浅草線/都営地下鉄三田線）徒歩7分
赤羽橋駅（都営地下鉄大江戸線）徒歩8分

